

特定のメーカーにこだわらない、 豊富なラインアップで需要に対応。

2023年11月にリニューアルオープンした「Restar Vision Park」。写真左端がソニー社製「Crystal LED」で、右端がBOE社製の高精細LEDディスプレイ。



ソニー社製Crystal LEDなど 複数社の製品を比較展示

(株)レスターコミュニケーションズ(以下、レスター)は2021年10月に開設した大型LEDディスプレイのショールーム「Restar Vision Park」(東京都品川区)を2023年11月にリニューアルオープン。ソニー製品を初めて常設展示したことに加え、今後販売強化を図る中国のBOE社やYAHAM社などの製品を新たに展示した。12月には関係者に向けた内覧会も実施し、好評だったという。



各LEDディスプレイをピクセルピッチで比較することもできる。



現在、レスターは主に中国のCreateLED社、LianTronics社の各社製品と日本のソニー社製「Crystal LED」などの大型LEDディスプレイの販売を中心に、大型映像ビジネスを展開している。同社で大型映像システムの販売を担当する第三営業部門 システム営業部 ビジョン推進プロジェクト課 マネージャーの大関慶明氏は『当社ではメー

カー問わず、様々な大型LEDビジョンを扱う。その中でも当社基準で信頼性の高い大型LEDディスプレイを推奨し、販売を行っている。特定のメーカーにこだわることなく、各社のラインアップを揃えることにより、大型LEDシステムの需要に万全に対応できる。今回、ショールームをリニューアルし、ソニー社製のCrystal LEDを当社では初めて展示した。

これまでもソニーのショールームなどでは見ることはできたが、他社製品と比較して実機を見ることができるのは、このショールームだけだと思う。販売に当たっては、まずはお客様に、実際に実機を見てもらい判断していただくことも重要と考え、各社の製品や方式などをこれまで以上に比較検討できるLEDショールームに改装した』と話す。

さらに『当社では主に、屋内型の高精細LED市場での拡販に注力しており、これまで順調に販売実績を伸ばしているが、最近はスタジアムなどの屋外型LEDの販売実績も高まっている』と話す。Crystal LEDは、CHシリーズ(高コントラストモデル)を常設。『Crystal LEDは大型LEDビジョンの最高峰に位置するが、その分価格も高価だ。中国メーカーなどの製品と比較し、その違いがここでは手に取るようにわかり、お客様の製品選択に役立つと思う』と話していた。

展示されているCrystal LEDのピッチは1.59mmで約137インチ、解像度はW1,920×H1,080ピクセル(フルHD相当)のディスプレイを展示。もちろん、これ以外のモデルの販売も可能だ。大関氏は『当社では、Crystal LEDは発売当初から販売を行っている。需要は自動車会社などのデザイン・設計用途が多いが、日本ブランドを希望するユーザーもあり、また製品ラインアップも増えていることで今後は幅広い用途が見込める』という。

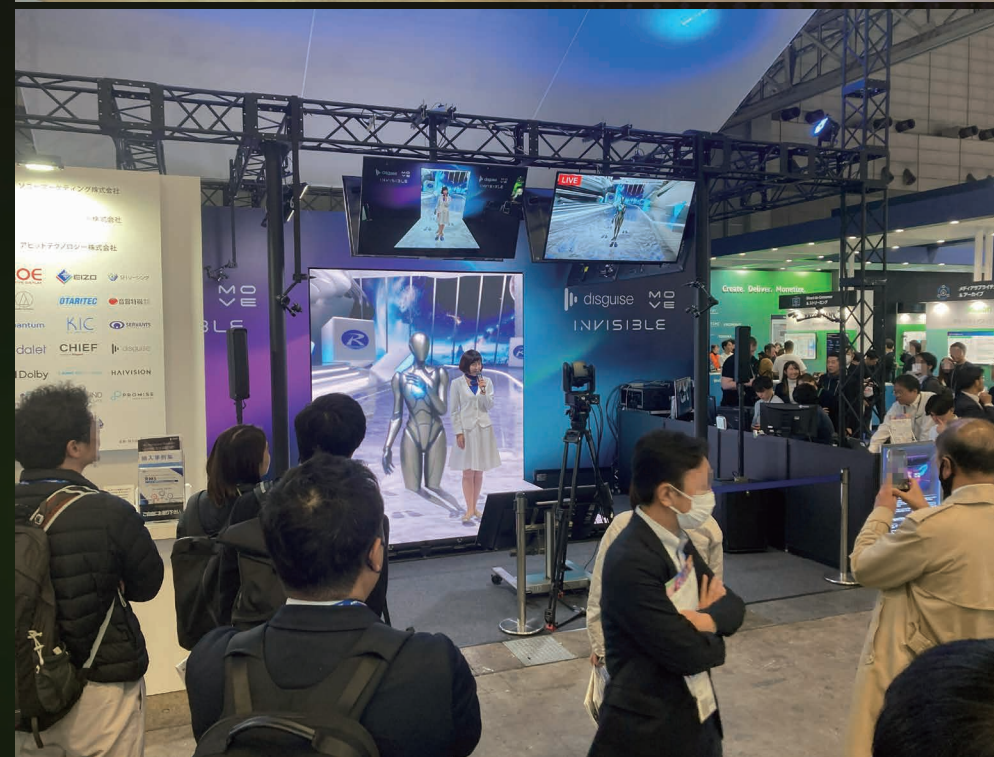
BOE社製高精細LEDも新規展示

今回のショールームのリニューアルでは、BOE社製の高精細LEDディスプレイも新規に展示した。1.25mmピッチのSMD方式で、画面サイズはW4,800×H2,700mm。約220インチの大きさは、同ショールームでは最大だ。解像度はW3,840×H2,160ピクセルで、4K相当の高画質映像をデモしている。大関氏は『BOE社製のLEDディスプレイは最新タイプで、最近日本市場で販売開始した。BOE社は最大級のディスプレイメーカーだ。同社のLEDディスプレイは今後、積極的に販売を行う』という。

そのほかにYAHAM社、CreateLED社、LianTronics社などのLEDディスプレイを展示中だ。さらに「Inter BEE 2023」



昨年11月に開催された「Inter BEE 2023」のレスターコミュニケーションズのブースでは、ROE社製のLEDディスプレイを使用し、バーチャルプロダクションスタジオ向けの展示も実施。



で展示したように、バーチャルプロダクションスタジオ向けではROE社製のLEDも扱うという。大関氏は『当社は放送・映像制作分野では、HDから4K、8Kまでワークフローのトータルコーディネートを得意としており、長年の実績がある。大型映像分野においても同じビジネススタイルで、単に大型ディスプレイを販売するのではなく、ユーザーのニーズに応じたシステム設計から、一級建築士の社員によるデザインや施工管理、運用・アフターフォローも含めたトータルソリューションとして提案を行ってい

る』と説明していた。そして『当社のショールームの見学はWebサイトなどで順次受け付けている。各社の高精細LEDなどを比較して見ることができるので、ぜひ一度ご覧いただきたい』と大関氏は語る。コロナ禍で大型LEDビジョンも一時期に需要が減速していたが、ここに来て需要は確実に回復傾向という。さらに拡大する市場に向けて積極展開を図るレスターコミュニケーションズ、今後の展開が注目される。〔取材・文：フリージャーナリスト 川田宏之〕